

2005年10月31日

各位

マルホ株式会社  
東レ株式会社

## 透析患者向け新規止痒薬の共同開発契約の締結について

このたび、マルホ株式会社（本社：大阪、社長：高木幸一、以下「マルホ」）と東レ株式会社（本社：東京、社長：榊原定征、以下「東レ」）は、東レの医薬品研究所で研究開発された新規化合物であるオピオイド系止痒薬「TRK-820」（東レ開発番号）の注射剤について、欧州における共同開発契約を締結しました。本契約により、マルホは先に締結された東レと米国バイオベンチャー、アコロジクス・インク（本社：米国カリフォルニア州、社長兼 CEO：熊谷是成）との共同開発のうち、透析患者における掻痒症を対象とする欧州における臨床第三相試験の東レ実施担当分について、共同開発を行うこととなります。

透析患者における掻痒症は、全身性の強い痒みのことで、現在承認されている治療薬はなく、抗ヒスタミン薬など、通常の痒みに対する治療薬は有効とはいえません。掻痒症がひどい場合、極度の睡眠不足、うつ病、皮膚炎、感染症、入院加療、そして健康状態や QOL（生活の質）の全般的な低下といった状態に陥ります。透析患者の半数が掻痒症を訴えるとの報告もあり、その約 2 割については長期的に深刻な状態が続きます。

今回の提携により、掻痒症に対する新規治療薬として期待される TRK-820 の欧州における開発プログラムの推進を加速してまいります。

マルホと東レは日本におけるアトピー性皮膚炎向けの新規止痒薬の共同開発および販売権に関する契約をすでに 2005 年 3 月 31 日付で締結しております。

なお、「TRK-820」の詳細な特徴などは別紙のとおりです。

## 別紙

### 1. TRK-820 の特徴

TRK-820 は、オピオイド（カッパ）受容体に選択的に結合し、作動活性を示し、従来のヒスタミン系の止痒薬とは異なる新規のメカニズムを有する新規化合物です。従来のヒスタミン系薬剤では抑えられなかったオピオイド系の痒みの発症のメカニズムを抑えることにより、従来の止痒薬では無効であった痒みに有効性を示すものと考えています。現在までの臨床試験結果から、特に血液透析患者やアトピー性皮膚炎患者のQOL(生活の質)向上に大きく貢献するものと考えています。

### 2. オピオイド受容体

受容体とは細胞膜上にあり、薬物が結合して生体反応の引き金を引く部分です。受容体は体内に多種類存在し、その種類によって結合できる化合物や、結合後にあらわれる薬理作用が全く異なってきます。オピオイドも受容体に結合して反応を示す薬物の1つであり、その受容体がオピオイド受容体です。オピオイド受容体の発見当初は、受容体は1種類であると考えられていましたが、その後の学問の進歩により現在は $\mu$ （ミュー）、 $\delta$ （デルタ）、 $\kappa$ （カッパ）の大きく3種類の受容体に分類できることがわかっています。

### 3. 作動薬とは

受容体を標的にする薬は、作動薬と拮抗薬に分けられます。作動薬はその受容体を活性化もしくは刺激して、細胞の活動を増減する反応を誘発します。

## <会社概要>

### マルホ株式会社

本 社：【住所】大阪府大阪市北区中津1丁目5-22

社 長：高木 幸一（タカギ コウイチ）

資本金：3億8,253万6千円

### 東レ株式会社

本 社：【住所】東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号 日本橋三井タワー

社 長：榊原 定征（サカキバラ サダユキ）

資本金：969億円（2005年3月期）